

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1 単位	演習	平成30年度	前期	3 年次
科目名	広域発展看護学実践論Ⅱ（地域連携と社会システム） Regional Development of Nursing II (Community Cooperation and Social System)					
担当教員	◎奥田眞紀子 高橋 晶 阿部 奈理					
目的	在宅療養をする人々とその家族が住みなれた地域で生活することを支える訪問看護の基礎的な知識と技術を学び、看護を実践する基礎的能力を養う。					
目標	1. 在宅療養者の日常生活援助技術について理解し実践できる。 2. 在宅医療技術について理解し実践できる。 3. 地域で生活する人々に対する介護予防支援の方法を理解できる。					
他科目との関連	「広域発展看護学概論・広域発展看護学実践論Ⅰ・Ⅲ」「保健医療福祉行政論」「パブリックヘルス論」等と密接に関連する。					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	定期試験				0.8
	レポート	在宅医療技術について				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	櫻井 尚子ほか，地域療養を支えるケア、在宅療養を支える技術（ナーシング・グラフィカ在宅看護論①、②），メディカ出版，2017					
参考資料	杉本正子、眞船拓子「在宅看護-実践をことばに」ヌーヴェルヒロカワ 2013 河原加代子編「系統看護学講座 統合分野 在宅看護論」医学書院					
備考 (受講上注意、事前学習等)						